

## A21 (桜井中央)

### 【 磐余若桜宮 伝承地 】

いわれわかざくらのみや

### ～ 若桜神社 桜の井 ～



若桜神社は、桜井市谷のほぼ中央西の丘の頂上に南面す

る閑静な神社で、ご祭神は伊波俄加利命いはかがりのみことです。日本書紀

によると、第十四代仲哀天皇の妃である神功皇后が大和国

に「磐余若桜宮」を作ったとあり、この神社のあたりで

あったと考えられています。また、第十七代履中天皇が

いわれいちしのいけ

磐余市磯池で遊ばれた際に、桜の花が散りかかる様子を不

思議に思われ、長真胆連にその所在を尋ねられたところ、

わきがみむろやま

腋上室山に咲いた桜であることがわかり、宮を「磐余雅

ざくらのみや

桜宮」と名付けられたのもこのあたりであったと言われ

ています。また、腋上室山から桜の樹を等彌郷の清水湧き

出る泉のほとりに植えられたことが桜井の名の起りりと

されています。

なお、「磐余雅桜宮」については、この若桜神社と桜井

市池之内の磐余雅桜神社の二つが伝承地となっています。

(桜井市 谷)